

「日米地位協定見直し」意見書提出へ！

戦争させない実行委の請願・全会一致採択

沼田市議会は9月議会最終日の23日の本会議で、戦争させない利根沼田実行委員会(都築靖会長)から提出された『日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書』の提出を求める請願書(紹介議員:井之川博幸、大東宣之)が付託されていた総務文教常任委員会の審査結果の報告を受けて、同請願書を全会一致で採択し、「日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書」を衆参議長、内閣総理大臣はじめ関係閣僚あてに提出しました。



井之川博幸市議

意見書は、「我が国には、日米安全保障条約に基づく日米地位協定によって、31の都道府県に131施設、約10万2千haの米軍基地施設が置かれている。日米地位協定は、わが国の社会情勢が大きく変化しているにもかかわらず、締結以来一度も改正されていない。米軍基地から派生する様々な事件や事故等から国民の生命・財産と人権を守り、根本的な解決のためには日米地位協定を抜本的に見直す必要がある。」と述べ、「全国知事会が、全会一致で決議し政府に要請した「米軍基地負担に関する提言(平成30年7月27日付け)を速やかに実行し、日米地位協定を抜本的に見直すこと。」を要求しています。



栗原川林道の再開通及び継続管理を求める請願を採択

請願の要旨は、「日本百名山」の一つに数えられている皇海山に利根町側から通じる栗原川林道が度重なる台風や大雨によって路肩崩落や落石の危険などで全面閉鎖されています。現在では、栃木県側からの登山道しかなく従来の利根町などの宿泊施設の利用客は皆無となっています。このまま栗原川林道を閉鎖・廃道にするのではなく、再開通及び継続管理を行うよう、議会から沼田市及び関係機関に提言して下さいというものです。23日の本会議で全会一致採択されました。

旧久米邸洋館保存整備事業補正予算を可決

沼田市名誉市民である久米民之助翁(1861~1931)が暮らした東京都渋谷区代々木上原の邸宅、通称代々木御殿の一角にあった洋館を市内中心市街地に移築し



整備が進む2街区、手前から2軒目の土岐邸洋館の右奥に旧久米邸洋館を移築予定

保存整備するもの。この建物は、大正初期の歴史的建造物として価値があり、保存整備することにより、市民文化の振興を図るとともに、「大正ロマンのまちづくり」と銘打つ中心市街地の新たな建造物として相乗効果が期待できると説明されている。

○建物の構造 木造平屋建て(一部RC造)

○面積 約90㎡(9.4m×10.1m)

*文化財保存事業 建物等調査業務委託料160万円、移築解体工事792万円

地方財政の確保・充実・強化を求める2意見書を採択

議会運営委員会提出の「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」及び総務文教常任委員会提出の「頻発する自然災害や新型コロナウイルス感染対策を含めた地方財政の充実・強化を求める意見書」を採択し、内閣総理大臣他関係閣僚あてに提出しました。



*連載している「沼田市政改革大綱について」は、都合によりお休みさせていただきます。

2020年9月27日 No.988

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料